学びの領域 “社会に生きる人びとの幸せ”を3コースで考察。

2027年度より、コースを改変します。コースの選択は、1年次第2期に行い、2年次からコース別となります。

ソーシャルワークコース

社会福祉施設での合計240時間の実習等をとおして、質の高い福祉サービスの開発・提供、人間関係・家族関係等、「支援」に関する知識と技術を幅広く学び、社会福祉専門職をめざします。

高齢者福祉　# 障害者福祉
児童福祉　# 地域福祉
相談援助　# 社会福祉士
精神保健福祉士
コミュニケーション技術

特別支援教育コース

「教育」と「福祉」、双方の観点をもつ特別支援学校教諭をめざし、2年次後半からは専門ゼミナールで現場を想定した模擬的な実践に挑戦。障がいのある子どもたちへの教育実践力を高めます。

特別支援教育
特別支援学校教諭
病弱教育　# 障がい児教育
障がい者教育
中学・高校教諭

社会デザインコース

地域社会の発展には、新たな発想と機動力のある働きかけが必要です。事例検討、インタビュー調査、フィールドワーク等の演習・実習をすることで、多様な人びとがともに生きやすい社会について、地域づくりプログラム・ユニバーサルデザインプログラム・多文化共生プログラムから構想します。

地域づくり　# 起業プランニング
ユニバーサルデザイン
多文化共生　# 異文化交流

学びの流れ “フィールドワーク”を重視した実践的な学び。

卒業基準単位数:124
教養的科目:24
専門科目:100
※2026年4月1日入学者の場合。

	1年次 「学びのスタイル」を確立する	2年次 専門領域に触れ方向性を定める	3年次 現場実習をとおして社会福祉を深く学ぶ	4年次 進路を定め卒業論文を作成
	学修への取り組み方や社会福祉学の基礎を学びます。演習もスタートし、学びのスタイルを確立します。	「地域福祉論」「社会的企業論」等、多岐にわたる専門領域を学修。コース別の演習も始まります。	各コースで現場実習やアクティブ・ラーニング等の実践的な学修に取り組み、社会福祉学を深めていきます。	卒業論文を作成。また、社会福祉士や精神保健福祉士等の国家試験や、教員採用試験の対策をします。
必修科目	◦学修の基礎Ⅰ ◦社会福祉原論Ⅰ ◦ソーシャルワーク総論Ⅰ ◦社会福祉基礎演習Ⅰ・Ⅱ	◦仏教社会福祉Ⅰ		◦社会福祉専門演習Ⅱ
選択必修科目	◦基礎英語1・2 ◦総合英語1・2 ◦基礎英会話1・2	◦フィールド演習Ⅰ ◦ソーシャルワーク演習Ⅰ	◦フィールド演習Ⅱ・Ⅲ ◦ソーシャルワーク演習Ⅱ・Ⅲ	◦ソーシャルワーク演習Ⅳ ◦社会福祉専門演習Ⅰ
選択科目	◦哲学Ⅰ・Ⅱ　◦仏教学Ⅰ・Ⅱ ◦歴史学Ⅰ・Ⅱ　◦文学Ⅰ・Ⅱ ◦社会学Ⅰ・Ⅱ　◦日本国憲法 ◦法学　◦心理学Ⅰ・Ⅱ 経済学Ⅰ・Ⅱ　◦統計論 ◦自然科学論Ⅰ・Ⅱ　◦政治学Ⅰ・Ⅱ ◦生物学　◦データサイエンス入門 ◦情報処理の基礎Ⅰ・Ⅱ ◦ドイツの言語と文化Ⅰ・Ⅱ ◦フランスの言語と文化Ⅰ・Ⅱ ◦中国の言語と文化Ⅰ・Ⅱ ◦コリアの言語と文化Ⅰ・Ⅱ ◦健康・スポーツ科学 ◦スポーツ実技Ⅰ・Ⅱ ◦ライフ・キャリア概論 ◦キャリア・デザイン入門 ◦社会福祉の入門　◦社会福祉の歴史 ◦仏教文化論　◦バイオエシックス ◦教育学の基礎　◦学修の基礎Ⅱ 英語文献講読　◦社会福祉原論Ⅱ ◦ソーシャルワーク総論Ⅱ ◦精神医学Ⅰ・Ⅱ ◦現代社会事情　◦手話入門演習 ◦音楽療法演習 ◦宗教学概説Ⅰ・Ⅱ ◦教育心理学　◦教職概論 ◦海外福祉事情	◦時事英語1・2　◦実践英会話1・2 精神保健福祉の原理Ⅰ・Ⅱ ◦仏教社会福祉Ⅱ　◦社会保障論Ⅰ・Ⅱ ◦地方自治論 ◦地域福祉論Ⅰ・Ⅱ　◦生活困窮者支援論 児童家庭福祉論　◦家族福祉論 障害者福祉論　◦高齢者福祉論 ◦医学概論　◦共生の福祉学 ◦社会福祉経営論 ◦医療ソーシャルワーク論 精神保健学Ⅰ・Ⅱ　◦精神保健福祉制度論 ◦社会的企業論　◦コミュニティ形成論 ◦多文化社会論　◦障害者教育総論 知的障害者の心理・生理・病理 ◦肢体不自由者の心理・生理・病理 病弱者の心理・生理・病理 障害児教育アセスメント法 ◦ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ ◦社会調査法 ◦ソーシャルワーク基礎演習 ◦ソーシャルワーク実習指導Ⅰ ◦ソーシャルワーク実習Ⅰ ◦ソーシャルワークの理論と方法［精神保健］Ⅰ 精神障害リハビリテーション論 ◦TOEIC® 特講　◦特別支援教育課程論 ◦カウンセリングⅠ・Ⅱ ◦障害者スポーツ論 ◦アダプテッドスポーツ実技 倫理学とは何か　◦臨床心理学 ◦生涯発達心理学　◦生涯学習概論Ⅰ・Ⅱ ◦発達障害者教育総論 ◦視覚・聴覚障害教育総論 ◦地方自治論	◦権利擁護と福祉 ◦刑事司法と福祉 ◦スクールソーシャルワーク論 ◦精神保健福祉制度特論 ◦労働と法 ◦ソーシャルワーク実習指導Ⅱ・Ⅲ ◦ソーシャルワーク実習Ⅱ ◦ソーシャルワークの理論と方法［精神保健］Ⅱ ◦ソーシャルワーク演習［精神保健］Ⅰ・Ⅱ ◦ソーシャルワーク実習指導［精神保健］Ⅰ ◦特別支援教育実践研究 ◦知的障害教育 ◦肢体不自由教育 ◦病弱教育 ◦重複障害教育総論	◦ソーシャルワーク演習［精神保健］Ⅲ ◦ソーシャルワーク実習指導［精神保健］Ⅱ・Ⅲ ◦ソーシャルワーク実習［精神保健］ ◦特別支援学校教育実習 ◦卒業論文

※学部間相互履修制度がある学部もあります。詳細は各学部へお問い合わせください。 ※カリキュラムは変更される場合があります。

授業 Focus on

社会福祉原論Ⅰ
社会福祉とは何なのかを知る授業です。定義や考え方だけでなく、その歴史から現状までを講義形式で学びます。

ソーシャルワーク演習Ⅲ
社会福祉士課程の法定授業です。児童養護施設や児童相談所等での実習の体験を、専門的な観点から評価・分析し、支援について考えます。

特別支援教育実践研究
特別支援教育の現状と課題を理解し、支援を必要とする児童生徒への適切な指導法を学び、教育的実践力を培います。

■時間割モデル
（2年次 特別支援教育コース）

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1	地理学概論		臨床心理学Ⅰ		仏教社会福祉Ⅰ	
2	医療ソーシャルワーク論	発達障害者教育総論		知的障害者の心理・生理・病理	教育課程論（国語を中心に） 教育課程論（算数・数学を中心に）	
3	生活困窮者支援論	ソーシャルワーク基礎演習	哲学Ⅰ	障害者教育総論	特別支援教育概論	
4		日本史概論	倫理学とは何か	音楽療法演習		
5						

■卒業論文テーマ

■心理的障壁はなぜ起きるのか
■「心のバリアフリー」を身近なものへ
－誰もが生きやすい社会をめざして－
■ADHDの特性による学校生活における困難と支援
■ユニバーサルファッションの現状と課題
■野外での異年齢集団活動が障害児に与える教育的効果 －ボーイスカウト運動の教育法からの考察－
■日本におけるベビーカーの福祉的課題と現状
■強度行動障害の支援について　求められる支援とは
■コンビニエンスストアにおける特殊許欺防止について
■精神障害分野におけるピアサポートの歴史と現状の課題 －二重関係（多重関係）と二重性の葛藤のロールモデルを模索して－
■都市部と農村部における福祉提供体制の比較 －地域自治区制度実施市 新潟県上越市を例として－
■児童福祉における支援と対策の研究
■現代社会の報道におけるジェンダーの課題とその対策
■農福連携の実現に向けた具体案検討－個人経営の花卉栽培農家で障害者を雇うには－
■特別支援教育における交流及び共同学習の現状と今後の課題
■ラグビーと多文化共生　　ほか

Topics
「FMクマガヤ」出演など地域密着の活動

地元のラジオ局「FMクマガヤ」に学生が定期的に出演して情報を発信しています。ほかにも、福祉・教育関連団体や、さまざまな企業・団体と連携した課外学修を展開するなど、学生がキャンパスから地域へ主体的に学びの場を広げています。

進路・就職 人びとの生活を支えるソーシャルワーカーへ。

高い専門性や課題解決力を手に、現代社会の人びとの幸せを考え、デザインします。

学科で身につく力

1. 人を理解し、適切に支援できる知識・技術、“生きる力”を引き出す能力
2. これからの地域社会の発展に必要な“新しい福祉”のあり方を構想し、切り拓く力
3. 国際援助、障がい者スポーツ、NPO、カウンセリング等、福祉分野の幅広い教養

■資格・免許
詳しくはP.130へ

【福祉専門職】
○社会福祉士（国家試験受験資格）
○精神保健福祉士（国家試験受験資格）
○社会福祉主事（任用資格）
○児童福祉司（任用資格）*
○児童指導員（任用資格）

【教員免許】
○特別支援学校教諭一種免許状（知的障害者・肢体不自由者・病弱者）
○中学校教諭一種免許状（社会）
○高等学校教諭一種免許状（公民）
○学校図書館司書教諭（任用資格）

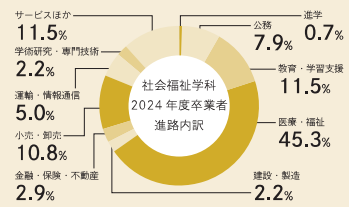
【その他】
○社会教育主事（任用資格）　○障がい者スポーツ指導員
○博物館学芸員（任用資格）　○日蓮宗僧階講座
○図書館司書

合格・取得サポート講座
●社会福祉士（受験資格）●精神保健福祉士（受験資格）●特別支援学校教諭一種（知的障害者・肢体不自由者・病弱者）
［対応講座］社会福祉士・精神保健福祉士国家試験対策講座／特別支援学校教員採用試験対策講座／公務員試験対策講座

*厚生労働省令で定める施設において1年以上相談援助に携わった者。
※コースごとに取得可能な免許・資格が異なります。また、資格取得にあたって、実習科目の履修にはいくつかの条件があります。

■進路・将来像

○高齢者福祉施設職員（相談職・介護職）
○障害者施設職員（相談職・支援職）
○児童福祉施設職員（支援職・相談職）
○病院職員
（医療ソーシャルワーカー・精神科ソーシャルワーカー）
○特別支援学校教諭
○中学校教諭
○高等学校教諭
○官公庁
○公務員
（福祉職・一般行政職・警察職等）
○福祉NPO・NGOスタッフ
○福祉・医療系企業
○民間企業全般
○大学院進学　等

■主な進路

地方公務員 福祉職、地方公務員 行政職、地方公務員 公安職、公立特別支援学校、社会福祉事業団、社会福祉協議会、社会福祉法人・特定非営利活動法人等 福祉職、病院 福祉職・事務職等、私立高等学校、公立中学校　ほか